

平成30年春の勲章伝達式：大使挨拶

皆様、こんにちは。

本日は、ブラジル日本人移住110周年の節目にあわせ、平成30年春の叙勲伝達式を開催できることを嬉しく感じるとともに、本日勲章を伝達できることを大変光栄に思います。

この度の平成30年春の叙勲においては、当館管轄地域からは3名の方が受章され、本日、タケシ・ミウラ氏に「旭日双光章」を、ジュンイチ・ハヤカワ氏に「旭日単光章」を、それぞれ伝達させていただきます。また、本日ご都合により出席が叶いませんでしたが、国際機関の要職を歴任し、経済面における日伯間の対話の促進に大きく貢献された国際決済銀行副総支配人のルイス・アワズ・ペレイラ・ダ・シルバ氏も今回「旭日中綬章」を受章されましたので、ここにご紹介させていただきます。

それでは、本日ご臨席のお二人の御功績について紹介させていただきます。

タケシ・ミウラ氏は、ブラジルの全国大会やパンアメリカン競技大会において金メダルを獲得するなど、ブラジルを代表する柔道の実力者です。自ら創設した「ミウラ道場」にて師範として1万人を超える門下生に指導を続け、ブラジル国内外において柔道の普及に寄与されてきました。さらに、その貢献は柔道にとどまらず、日本的価値観や日本武道精神の普及、さらには、青少年の健全な育成にも取り組まれ、日本とブラジルの関係深化に尽力されました。その貢献を称え、本日「旭日双光章」を伝達させていただきます。

ジュンイチ・ハヤカワ氏は、コーヒーや綿花栽培をはじめとした農業に従事するとともに青年団の団体活動に積極的に参加され、農村青少年の運動及び農村生活の水準向上に大きく貢献されました。また、日本文化等の普及活動を通じて日系社会とブラジル社会の融和と親睦に貢献されたとともに、14年間にわたりアレッシャンドレ・グスモン農村文化協会会長を務められました。さらに、健全な青少年育成の観点から野球場建設を進めた同人のイニシアティブは高く評価されるとともに、地域の日系団体の活性化にも大きく貢献されました。ハヤカワ氏は、ブラジリア日伯学生寮運営協会評議員として当地における子女教育向上にも大変尽力されました。その貢献を称え、本日「旭日単光章」を伝達させていただきます。

改めて、この度受章された方々の御功績に敬意を表すると共に、今後の益々の御健勝をお祈り致します。また、この機会に、御家族、友人をはじめ、協力してこられた関係者の皆様に感謝するとともに、お祝い申し上げます。